

平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウィザス
 コード番号 9696 URL <http://www.with-us.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 生駒 富男
 (氏名) 井尻 芳晃
 配当支払開始予定日

TEL 06-6264-4202
 平成24年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,288	3.0	232		251		158	
24年3月期第2四半期	7,074	5.0	235		233		238	

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 278百万円 (%) 24年3月期第2四半期 245百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	15.75	
24年3月期第2四半期	23.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	13,739	4,166	28.9	395.44
24年3月期	14,299	4,490	30.4	432.46

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,976百万円 24年3月期 4,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期		5.50		8.00	13.50
25年3月期		7.50			
25年3月期(予想)				8.00	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	16,221	4.1	1,077	35.8	1,041	30.6	326	141.5	32.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	10,440,000 株	24年3月期	10,440,000 株
期末自己株式数	25年3月期2Q	384,058 株	24年3月期	383,982 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	10,055,964 株	24年3月期2Q	10,056,018 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要からやや回復の兆しがみえたものの、欧州債務危機を巡る不確実性が高いなか、今後の本格的な景気回復は不透明な状況となっております。また、個人消費につきましては緩やかに改善しているものの、依然として厳しい状況にあり、消費者の選択眼は高く、当業界におきましても生徒獲得に向けたサービス間競争がより一層強まっております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては独自の意欲喚起教育EMS(the Educational Method of Self-motivation)の展開と成績向上に柱をおいた指導への取り組みにより、競合他社との差別化を推進してまいりました。

また、当連結会計年度より連結子会社化した株式会社学習受験社が堅調な推移により収益に寄与するとともに、事業拡張分野として、在宅型WEB講座の展開、資格取得を中心とした社会人教育の拡大を図ってまいりました。

更に、グローバル化の進展・ICTテクノロジーの向上などを背景に、教育業界でも新たなニーズが生まれており、1.新しい英語教育を中心とした「グローバル人材の育成」、2.スクールシティを中心とした「e-ラーニングの推進」、3.速読を中心とした「能力開発の推進」、4.M&Aの推進を軸とした「ドメインの拡大」の4つの施策を柱として、既存事業とのシナジー拡張及び新分野進出に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は72億88百万円（前年同期比3.0%増）、営業損失は2億32百万円（前年同期は営業損失2億35百万円）、経常損失は2億51百万円（前年同期は経常損失2億33百万円）となりました。また、四半期純損失は特別利益である投資有価証券売却益の計上等により、1億58百万円（前年同期は四半期純損失2億38百万円）となりました。

なお、当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、固定費や広告宣伝費の先行投資的費用が発生するため、季節的な収益変動要因があります。その結果、当第2四半期連結累計期間では営業損失を計上しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

学習塾事業

学習塾事業における売上高は、42億22百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は4億28百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

M&Aにより九州・沖縄地区に15校舎を展開している株式会社学習受験社を連結子会社化したことと、投資回収期間の短い個別指導教室を中心に新規5校・移転2校の積極展開を推進し、第2四半期末の校舎数は172校（前期末比18校増）、生徒数は過去最高の22,575人（前年同期比3.6%増）となりました。

また、小学校高学年を対象にインターネットを使ったアメリカ在住ネイティブ教員とのライブ授業や大阪市立科学館の協力を得た理科実験教室の実施等、先進的教育プログラムを推進することにより、競合他社との更なる差別化を図っております。

高校・キャリア支援事業

高校・キャリア支援事業における売上高は、22億31百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失22百万円）となりました。

平成24年4月に通信制高校子会社2社（株式会社ハーモニック及び株式会社ナビ）を吸収合併し、新ブランド「第一学院」への名称統一と合わせ、シナジー拡大と経営効率の向上を図って参りました。また、社会人を対象に介護・保育・商業ビジネス・行政ビジネス等の資格取得講座を運営する「第一学院専門カレッジ」は受講コースおよび提供サービスエリアの拡大により、第2四半期末生徒数は508名（前年同期比179.1%増）となりました。しかしながら、通信制高校および「第一学院専門カレッジ」は生徒数を伸ばしたものの、高卒認定コースの生徒数が減少し、第2四半期末生徒数は7,417名（前年同期比5.2%減）となりました。

*第1四半期連結会計期間より、従来の「高認・サポート校・通信制高校事業」から「高校・キャリア支援事業」へとセグメント名称を変更しております。

その他

その他におきましては主に、広告事業、キャリアサポート事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業に係る業績を計上しており、速読を主体とするキャリアサポート事業が引き続き堅調に推移し、売上高は8億34百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は15百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

また、「世界で活躍できるグローバル人材を育成し、日本と世界の未来に貢献」することを目的として、英語に

よる高いコミュニケーション力を育成する「グローバル人材育成」分野とスクールシティを中心とした「e-ラーニング」分野を統合し、新分野進出のため、株式会社グローバルゲートインスティテュートを平成24年10月1日に設立しました。幼児から社会人までを対象にした次世代高付加価値教育サービスの提供を意図し、WEBによる高度で、広範な教育サービスを提供する準備を進めております。

*セグメントにおける営業利益は本社経費配賦前の営業利益を記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.6%減少し、43億2百万円となりました。これは、現金及び預金が1億74百万円増加し、授業料等未収入金が4億8百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、94億22百万円となりました。これは、投資有価証券が4億17百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、137億39百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、63億54百万円となりました。これは、短期借入金が16億53百万円増加し、前受金が11億46百万円、未払法人税等が2億65百万円、支払手形及び買掛金が1億66百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、32億18百万円となりました。これは、長期借入金が1億17百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、95億73百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、41億66百万円となりました。これは、利益剰余金が2億38百万円、その他有価証券評価差額金が1億33百万円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより31億65百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて3億44百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は11億39百万円(前年同期は8億7百万円の資金の減少)であり、これは主に、前受金の減少11億55百万円、法人税等の支払額3億51百万円、非資金取引として減価償却費の計上3億80百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は10百万円(前年同期は5億27百万円の資金の減少)であり、これは主に、有形固定資産の取得による支出3億65百万円、投資有価証券の取得による支出38百万円、無形固定資産の取得による支出73百万円、投資有価証券の売却による収入5億6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は11億51百万円(前年同期は2億60百万円の資金の増加)であり、これは主に、短期借入れによる収入26億60百万円、短期借入金の返済による支出10億6百万円、長期借入金の返済による支出2億54百万円、社債の償還による支出1億55百万円、配当金の支払額80百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,187,114	3,361,653
受取手形及び売掛金	192,179	173,951
授業料等未収入金	493,657	85,455
教材	60,167	68,919
商品及び製品	28,581	25,268
原材料及び貯蔵品	22,245	19,774
その他	502,814	618,664
貸倒引当金	21,836	51,315
流動資産合計	4,464,924	4,302,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,345,006	3,462,401
その他（純額）	1,336,333	1,358,498
有形固定資産合計	4,681,340	4,820,899
無形固定資産		
のれん	109,767	14,258
その他	512,232	501,738
無形固定資産合計	621,999	515,997
投資その他の資産		
投資有価証券	1,669,183	1,251,959
敷金及び保証金	1,394,940	1,418,766
その他	1,632,022	1,609,582
貸倒引当金	195,293	194,917
投資その他の資産合計	4,500,852	4,085,390
固定資産合計	9,804,192	9,422,286
繰延資産	30,584	15,111
資産合計	14,299,701	13,739,769

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	333,000	166,019
短期借入金	446,250	2,099,684
1年内返済予定の長期借入金	551,965	470,950
1年内償還予定の社債	277,000	241,000
未払法人税等	373,205	107,362
前受金	3,161,875	2,015,755
賞与引当金	235,380	270,070
その他	1,082,947	984,066
流動負債合計	6,461,624	6,354,910
固定負債		
社債	439,000	320,000
長期借入金	1,099,670	981,901
退職給付引当金	765,484	857,914
役員退職慰労引当金	371,015	376,475
資産除去債務	512,684	553,837
その他	159,774	128,415
固定負債合計	3,347,629	3,218,544
負債合計	9,809,253	9,573,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,375	1,299,375
資本剰余金	1,517,213	1,517,213
利益剰余金	2,195,574	1,956,704
自己株式	145,759	145,779
株主資本合計	4,866,404	4,627,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214,402	80,906
土地再評価差額金	731,938	731,938
その他の包括利益累計額合計	517,535	651,031
新株予約権	49	-
少数株主持分	141,529	189,831
純資産合計	4,490,447	4,166,314
負債純資産合計	14,299,701	13,739,769

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,074,795	7,288,357
売上原価	5,860,877	5,980,940
売上総利益	1,213,918	1,307,416
販売費及び一般管理費	1,449,695	1,539,706
営業損失（ ）	235,777	232,289
営業外収益		
受取利息	3,386	2,763
受取配当金	8,731	14,758
持分法による投資利益	19,333	17,701
イベント協力金収入	7,252	6,964
その他	16,689	12,592
営業外収益合計	55,393	54,780
営業外費用		
支払利息	24,668	19,503
貸倒引当金繰入額	-	33,101
開業費償却	15,632	15,473
その他	13,171	6,206
営業外費用合計	53,472	74,284
経常損失（ ）	233,856	251,793
特別利益		
投資有価証券売却益	-	286,928
保険解約返戻金	-	20,507
その他	-	49
特別利益合計	-	307,485
特別損失		
減損損失	18,244	79,940
固定資産除却損	22,527	5,881
投資有価証券評価損	20,324	-
関係会社出資金評価損	-	20,663
段階取得に係る差損	-	12,703
特別損失合計	61,096	119,188
税金等調整前四半期純損失（ ）	294,953	63,496
法人税、住民税及び事業税	93,360	88,272
法人税等調整額	146,344	7,187
法人税等合計	52,984	81,084
少数株主損益調整前四半期純損失（ ）	241,968	144,581
少数株主利益又は少数株主損失（ ）	3,291	13,789
四半期純損失（ ）	238,676	158,371

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（ ）	241,968	144,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,222	133,495
その他の包括利益合計	3,222	133,495
四半期包括利益	245,190	278,076
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,899	291,866
少数株主に係る四半期包括利益	3,291	13,789

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（ ）	294,953	63,496
減価償却費	383,216	380,902
開業費償却額	15,632	15,473
減損損失	18,244	79,940
のれん償却額	38,909	38,955
貸倒引当金の増減額（ は減少）	5,582	29,103
賞与引当金の増減額（ は減少）	61,208	29,633
退職給付引当金の増減額（ は減少）	55,678	55,684
役員退職慰労引当金の増減額（ は減少）	9,214	5,460
受取利息及び受取配当金	12,117	17,522
支払利息	24,668	19,503
持分法による投資損益（ は益）	19,333	17,701
投資有価証券売却損益（ は益）	-	286,928
投資有価証券評価損益（ は益）	20,324	-
売上債権の増減額（ は増加）	449,475	432,329
たな卸資産の増減額（ は増加）	121	4,199
仕入債務の増減額（ は減少）	145,972	166,980
前受金の増減額（ は減少）	864,466	1,155,254
その他の資産の増減額（ は増加）	32,385	82,380
その他の負債の増減額（ は減少）	99,300	106,580
その他	2,806	19,374
小計	394,855	794,685
利息及び配当金の受取額	25,029	32,323
利息の支払額	25,877	24,819
法人税等の支払額	411,654	351,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	807,358	1,139,142
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	442,185	365,750
無形固定資産の取得による支出	74,533	73,056
有価証券の取得による支出	99,720	-
有価証券の償還による収入	100,000	-
投資有価証券の取得による支出	38,720	38,843
投資有価証券の売却による収入	-	506,412
子会社株式の取得による支出	-	18,394
その他	28,073	566
投資活動によるキャッシュ・フロー	527,086	10,933

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,010,000	2,660,000
短期借入金の返済による支出	1,000,000	1,006,566
長期借入れによる収入	400,000	30,000
長期借入金の返済による支出	174,618	254,674
社債の発行による収入	294,815	-
社債の償還による支出	125,400	155,000
リース債務の返済による支出	34,903	35,768
自己株式の取得による支出	-	19
配当金の支払額	100,289	80,144
少数株主への配当金の支払額	9,500	6,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	260,104	1,151,627
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,074,340	23,417
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	91,815
現金及び現金同等物の期首残高	3,895,956	3,050,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,821,616	3,165,784

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	高認・サポ ート校・通 信制高校事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,981,931	2,307,254	6,289,186	785,609	7,074,795	-	7,074,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	464	-	464	509,276	509,741	509,741	-
計	3,982,396	2,307,254	6,289,650	1,294,886	7,584,537	509,741	7,074,795
セグメント利益又は 損失（ ）	414,032	22,246	391,786	12,755	379,031	614,809	235,777

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、キャリアサポート事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（ ）の調整額 614,809千円には、セグメント間取引消去2,611千円、のれん償却額 36,790千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 580,630千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	高校・キャ リア支援事 業(注) 4	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,222,189	2,231,786	6,453,975	834,381	7,288,357	-	7,288,357
セグメント間の内部 売上高又は振替高	275	-	275	467,122	467,397	467,397	-
計	4,222,464	2,231,786	6,454,250	1,301,504	7,755,754	467,397	7,288,357
セグメント利益又は 損失（ ）	428,394	12,580	415,814	15,512	431,326	663,616	232,289

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、能力開発事業（旧キャリアサポート事業）及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（ ）の調整額 663,616千円には、セグメント間取引消去2,333千円、のれん償却額 38,955千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 626,994千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、従来の「高認・サポート校・通信制高校事業」から「高校・キャリア支援事業」へとセグメント名称を変更しております。なお、これによるセグメント情報に与える影響はありません。